



- 

副会長へ新任となった以外は全ての役員が再任され、今後も萩原会長を中心に一層、会員相互の情報交換や衛生管理者としての資質向上を図っていくこととなりました。

総会に引き続いて行われた講演会には、横浜労災病院 勤労者メンタルヘルスセンター長山本晴義先生を講師に迎え『メンタルヘルス不調の発症から職場復帰までの好事例と困難事例』と題して、ご講演いただきました。年間8,000件を超えるメールによるメンタルヘルス相談の対応を行っている先生の体験をもとにメンタルヘルス不調者への対応のほか、先生が10年をかけ開発した“メンタルろうさい”や現在取組を行っている“職場訪問型復職支援”等についてもお話いただきました。



今回、講演会の参加者は150名余りと衛生管理者協議会始まって以来の人数となり、参加者の方からは、「実践に基づいた説得力のあるお話でした」「大変分かりやすく参考になりました」「素晴らしい内容で、メンタルヘルス対策を進める力となりました」「現在抱えている困難事例の対応について参考となりました」等のご意見をいただきました。先生には意見交換会にもご出席いただき、参加された方からは大変有意義な時間が過ごせましたのご意見が寄せられました。



群馬職域メンタルヘルス交流会を開催します



平成26年11月26日、下記のとおり「群馬職域メンタルヘルス交流会」を、開催いたします。

「メンタルヘルス不調の未然防止のための職場づくり活動」

～絆を育み、働きやすい職場環境を目指して～

開催日時 平成26年11月26日(水) 14:00～17:00

場 所 群馬メディカルセンター 2階 大ホール(前橋市千代田町1-7-4)

I 部 講演

『職場におけるヘルス・エンパワーメントの醸成』

—労働者の力を再現に発揮できる職場環境づくり—

講師 根岸 茂登美 氏 (藤沢タクシー(株) 代表・保健師)

II 部 シンポジウム

座長 椎原 康史 氏 (群馬大学名誉教授・赤城病院 顧問・精神科医)

・情報提供 ①寺村 裕司 氏 (群馬労働局 労働基準部 健康安全課 課長)

「群馬県におけるメンタルヘルスの現状、行政の動向」

②茂木 修 氏 (群馬障害者職業センター 障害者職業カウンセラー)

「リワーク支援の実際」～事業所でのコーディネーション～

『メンタル不調の未然防止のための職場づくり活動について』

～絆を育み、働きやすい職場環境を目指して～

1) 帆苺 なおみ 氏 (サンデン(株)総務本部 グローバル総務部 安全衛生グループ 保健師)

「産業現場での看護師・保健師活用のすすめ」

2) 山藤 輝幸 氏 (サンデン(株)八斗島事業所 衛生管理委員会 委員長)

「メンタルヘルス予防活動の再構築・しくみ化」

～衛生管理者、看護職それぞれの専門性を生かして活動推進～

3) 高野 啓一 氏 (リントック(株) 吾妻工場 事務部 事務課総務・人事グループ 主任)

「メンタルヘルス対策の現状」

～専任スタッフ不在の中での取り組みと課題～

助言者 根岸 茂登美 氏 (藤沢タクシー(株) 代表・保健師)

今回で第11回となる群馬職域メンタルヘルス交流会へ、職域メンタルヘルスに関係する方、関心のある多くの方々のご参加をお待ちしております。

* 申込・詳細につきましてはこちら

<http://www.gummasanpo.jp/topics/H26mentalhelthkouryuukai.pdf>

第2回メンタルヘルス事例検討会開催のご案内

《第2回メンタルヘルス事例検討会》を開催することとなりました。

「心の健康問題」が大きく取り上げられている現在、休職中の労働者の職場復帰や休みがちなメンタルヘルス不調者にどのように対応すれば良いかなど、メンタルヘルスの担当者または管理職の方が日常困っていることなどを、気楽に話し合い、その中でよりよい解決につなげる為の検討会です。参加者同士で情報交換し自由に話し合える交流の場になればと考えておりますので、お気軽にご参加下さい。

【事例検討会の概要】

今回は『メンタルヘルス支援に関する事例検討について』話し合う予定としております。

他者を支援する過程において生じる支援者自身の感情や、認知に焦点を当てた事例検討を行いたいと思います。検討会参加者の体験した事例を具体的に挙げていただき、少人数のグループで検討し内容を深めたいと思いますので、事前に事例の提出をお願い致します。特に事例をお持ちにならずにご参加いただいても結構です。

当センターでメンタルヘルス担当相談員を務めていただいている心理士 松岡治子氏がコーディネーターを務める他、カウンセラー、労務管理担当の先生方も都合が合えばオブザーバーとして参加していただけます。

コーディネーター 当センターメンタルヘルス担当相談員 松岡 治子 氏

開催日時 平成 26 年 11 月 28 日(金)14:00～16:00

開催場所 群馬メディカルセンター 2階セミナールーム

定員 10 名程度

申込方法 下記URLをクリックし、申込書にご記入の上、
FAX(027-233-9966)に送信下さい。

<http://www.gummasanpo.jp/topics/26.11.28jireikentoukai.pdf>



産業保健基礎講座

前号の相談事例でご紹介した、産業医の要件の日本医師会の認定産業医制度(厚生労働大臣の指定する者が行う研修)について今回はご説明いたします。

認定産業医制度は、これから産業医になる為に行う基礎研修と、産業医登録された先生が更新の為に研修があります。

まずは、基礎研修についてご説明いたします。

基礎研修とは、産業医活動を行う為に必要な基礎的知識・技術を習得する研修で、これから産業医になろうと考えている先生方が受ける研修です。

以下基礎研修会について

1.開催

日本医師会ならびに都道府県医師会(複数の都道府県医師会で実施する場合も含む)において実施します。

研修会の日程等は、日本医師会雑誌などに掲載します。

2.研修手帳

日本医師会は都道府県医師会を通じて「産業医学研修手帳(Ⅰ)」を交付します。

研修会の実施主体者はこれに受講修得単位を記載し、証明します。

3.内容(50単位以上(ただし、1時間の研修を1単位とします。))

①前期研修(14単位以上)

入門的な研修

総論	2単位
健康管理	2単位
メンタルヘルス対策	1単位
健康保持増進	1単位
作業環境管理	2単位
作業管理	2単位
有害業務管理	2単位
産業医活動の実際	2単位



上記8項目の研修については、それぞれの単位の修得が必要です。

②実地研修(10単位以上)

主に職場巡視などの実地研修、作業環境測定実習などの実務的研修

③後期研修(26単位以上)

地域の特性を考慮した実務的・やや専門的・総括的な研修

次回は、更新研修についてご説明いたします。

産業保健セミナー(11・12・1月)のご案内

当センターの産業保健セミナー(11・12・1月)を掲載します。

受講料・教材費は無料です。

＊セミナーは、できるだけ計画通り実施したいと考えていますが、電力事情や会場等の都合により、研修の中止や日程・会場の変更をすることがあります。

申し込み後の変更については、FAXまたはメールにてご連絡致します。

☆お申し込み・詳細につきましてはホームページをご覧ください☆

⇒ <http://www.gummasanpo.jp/seminar/index.html>

日 程	テーマ	開催場所
☆メンタルヘルス対策セミナー		
11月12日(水)	『〈対話法〉の応用(職場でのハラスメント予防とメンタルヘルス向上を目指して)』	センター
11月19日(水)	『メンタルヘルス不調者への気づきと対応 ～交流パターンを理解する～』	三洋電機㈱
12月 9日(火)	『群馬県におけるリワークプログラムと職業センターの復職支援について』	群馬障害者 職業センター
12月17日(水)	『〈対話法〉の発展(伝達ミスとヒューマンエラーを予防するコミュニケーション)』	センター
1月16日(金)	『自分と相手の「怒り」のマネジメント』	センター
☆作業環境管理セミナー		
11月20日(木)	『化学物質の管理について～SDSの見方と活用の仕方～』	センター

10月のセミナー結果

◎産業医研修

テーマ：『睡眠時無呼吸症候群について』

開催日時：10月2日(木)14:00～16:00

会 場：前橋テルサ 8階けやき

講 師：川島 理 先生(川島医院 院長)

参 加 者：37名



内 容 : 一昨年に関越での高速バスの事故以来、事故がある都度睡眠時無呼吸症候群(SAS)との因果関係が取りだたされています。

睡眠時無呼吸症候群は眠りを妨げるだけでなく、生活習慣病の原因にもなります。睡眠時無呼吸症候群とはどのような病気なのか、その原因と症状、危険性について、CPAP(シーパップ)等の治療法についてお話しいただきました。

また、医療機器メーカーも同席し、CPAP等の治療機器の使用方法、取り扱いについての展示が行われました

参加者からは「臨床で必要を感じているので有益だった」「もしSASの方がいた場合、どのように職場へ連結するかを例示したらもっと良かった」等の意見をいただきました。



テ ー マ : 『群馬県におけるリワークプログラムと職業センターの復職支援について』

開催日時 : 10月16日(木)15:00~16:00

会 場 : ヤマダグリーンドーム前橋 104会議室

講 師 : 茂木 修 氏(群馬障害者職業センター 障害者職業カウンセラー)

参 加 者 : 11名

内 容 : メンタルヘルス不調者の職場復帰に際しては試し出勤制度を設けることが「心の健康問題により休業した労働者の職場復帰支援の手引き」に示されているが、実際企業において対応することは難しい。

そこで、本研修では群馬県内におけるリワークへの取り組みと障害者職業センターで行っている復職支援についてお話しいただきました。

参加者からは「具体的で良かった」「日常診療で心的要因で休職されている方もいるので、今後も利用させていただきたいと思う」等の意見をいただきました。



◎メンタルヘルス対策セミナー

テ ー マ : 『〈対話法〉とは何か？(相談とカウンセリングで役立つコミュニケーション技法)』

開催日時 : 10月8日(水)14:00~16:00

会 場 : 群馬メディカルセンター2F セミナールーム

講 師 : 浅野 良雄 相談員 (群馬産業保健総合支援センター カウンセリング担当相談員)

参 加 者 : 9名

内 容 : 〈対話法〉は、誤解を防ぎながら信頼関係を築くコミュニケーション技法です。その中でも従来からある、傾聴・共感という技法を具体的な行為として定義した「確認型応答」(相手が言いたいことの要点を、相手に言葉で確かめること)は、特に重要です。本研修では、相談業務におけるコミュニケーションのコツを明確にするための「確認型応答」について、実習を交えながらお話しいただきました。

参加者からは「対話法を使ってみようという機会がどれだけあるか未知」「社内でコミュニケーション能力の向上に繋がる」「従来のカウンセリング技法との違いで捉えていたが、同じ部分でもあると捉えると分かり易くも思える」「先生がとても謙虚な方で素晴らしい」「確認型応答を時々使って対話する事があったが、今後はもっとこの技



テ ー マ : 『人間関係&仕事を円滑にすすめるための
アサーション・トレーニング(上手な自己表現)』



会 場：群馬メディカルセンター2F セミナールーム

参加者：13名

相手に伝える言い方を練習し、コミュニケーションに自信を持つことを目指すにはどうすれば良いかなどについてお話いただきました。

参加者からは「様々な分野で活躍している方達と話のできたので楽しかった」「身近なテーマで他者の意見も聞け、理解が深まった」「アサーションを学んだ事はあったが、改めて話を聞いて気持ちを新たにすることができた」「グループワークで発表された事例に対する講師のコメントが非常に身に染みるものであり、第3者や専門家の意見を仰ぐ事の重要性に気が付いた」「日常、言いたい事が言えず嫌な思いをする事がしばしばあるが、具体的に相手の何が問題で、自分の望む形は何なのか、そのために何を伝えるべきか考えた事は意外になかったので良かった」「前回も参加したが、より実践の講習という感じで、考える所が多かった。明日から今日のポイントを活かしていきたいと思う」等の意見を得ました。



1. 10月28日当センター所長真下延男先生が群馬県功労賞を受賞されました。

<http://www.pref.gunma.jp/houdou/a0800057.html>

- 2.「群馬県の平成 26 年労働者死傷病報告受理件数(平成 26 年 9 月末)」

http://gunma-roudoukyoku.jsite.mhlw.go.jp/library/gunma-roudoukyoku/toukei/saigai/saigaitoukei/H26_2609.pdf

- 3.「労働安全衛生法施行令の一部を改正する政令及び労働安全衛生規則等 の一部を改正する省令の施行について(厚労省)」

<http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000057700.html>

4. 「第 62 回日本職業・災害医学会学術大会の開催について」

<http://www2.convention.co.jp/jsomt62/index.html>

電話:027-233-0026 FAX:027-233-9966